

報道資料

吉野スギおけだ い この桶太鼓の音響実験結果について

＝高評価。響きに「硬さ」と「スピード感」＝

奈良県森林技術センターにおいて、吉野スギで作った桶太鼓の音響実験を実施しました。

- 当センターでは、奈良県産材の利用促進のため、スギ材の楽器への利用を研究テーマの1つとしています。これまでもバイオリンやギターの開発や評価に取り組んできました。
- 令和2年1月、川上村の「一般社団法人 吉野かわかみ社中」と愛知県岡崎市の「(株)三浦太鼓店」は「川上産吉野材の利用促進を図る協定」を締結。吉野スギを用いた桶太鼓の製作が始まりました。
- スギの材質が桶太鼓の音響にどのような影響があるかを調べたところ、吉野スギは桶太鼓の胴の材料として高評価を得ました。
- これまでの実験結果をふまえ、奈良県産スギ材の優位性をPRし、楽器製作への活用を推進していきます。



<音響実験（主観評価）の概要>

音響評価者：10代から60代の楽器経験者28名

評価方法：4種類*の桶太鼓の演奏を聞き、

音色を8つの項目**で5段階評価

(* 吉野スギ、秋田スギ、他県産スギ、神代スギ)

(** 心地よさ・余韻・音の深み・腹に響く音・音の硬さ・音のスピード感・

音のつぶ・音の鳴り 及び「総合評価」)

結果：「総合評価」65%以上(19名)が吉野スギを「良い・やや良い」と回答
「音色」吉野スギの桶太鼓の響きは「硬くスピード感がある」との評価

※奈良県森林技術センターにおける県産スギ材を使った楽器研究の実績

- ・スギバイオリン1台目（平成27年度～28年度）
- ・スギバイオリン2台目（平成29年度）
- ・スギバイオリン3台目・スギビオラ・スギチェロ（平成30年度）
- ・スギギター（令和元年度）
- ・桶太鼓（令和2年度）

※桶太鼓（おけだいこ）とは

- ・桶太鼓とは、人が太鼓を肩から担いで演奏するタイプの太鼓です。
- ・古くから、東北地方で祭り等で使われてきましたが、最近は、パフォーマンスがよく、舞台映えすることから、愛好者は全国に広がっています。
- ・桶太鼓は、人が担ぐため、軽くて丈夫であることが求められます。
- ・このため、胴の部分は、木桶を作るのと同じように、国産のスギ板を組み合わせ、竹のたがをはめて作られています。皮は、牛皮等が使われています。

※音響実験に至った経緯

- ・2020年1月、一般社団法人吉野かわかみ社中（奈良県吉野郡川上村）と（株）三浦太鼓店は、「川上産吉野材の利用促進を図る協定」を締結。
- ・桶太鼓の胴の材料として、（株）三浦太鼓店（愛知県岡崎市）では、新たな材料として、吉野スギが加わることとなりました。吉野スギは人工林で育てられており、山に蓄積量も多く、持続的な利用が可能です。
- ・そこで、胴の部分に用いるスギ材の材質が、桶太鼓の音響にどのような影響があるかを調べることを目的とし、音響実験を行うことになりました。

※音響実験で比較した桶太鼓の材料

- ・吉野スギ 産地：吉野郡川上村 人工林 樹齢120年
- ・秋田スギ 産地：秋田県 天然林 樹齢200～250年 現在は伐採禁止
- ・他県産スギ 産地：非公表 人工林 樹齢60年 一般的な国産スギ
- ・神代スギ 産地：鳥海山麓の土中に2500年間埋没。稀少な材料。

吉野スギ桶太鼓の贈呈式が下記の通り開催されますので、お知らせします。

「吉野スギ桶太鼓」の贈呈式 次第

1. 趣 旨 500年以上続く吉野林業の育林技術と先人の想いを継承し、日本の伝統的な打楽器と融合することで、新たな可能性を発信し販路拡大に繋げる。
2. 日 時 令和3年3月3日（水）13：00～
3. 場 所 川上村総合センター「やまぶきホール」（吉野郡川上村迫）
4. 出席者 寄贈者 株式会社 三浦太鼓店 代表 三浦和也
受贈者 川上村 村長 栗山忠昭
5. 主催者 一般社団法人 吉野かわかみ社中
6. 内 容
 - (1) 開式（経緯及び出席者紹介） …5分
 - (2) 寄贈者あいさつ（三浦代表） …5分
 - (3) 贈呈式 …5分
 - (4) 受贈者あいさつ（栗山村長） …5分
 - (5) 音響実験の結果報告（奈良県森林技術センター） …15分
 - (6) 桶太鼓の比較実演（三浦代表） …30分
 - (7) 質疑応答（報道関係者） …15分
 - (8) 記念撮影 …10分
 - (9) 閉式あいさつ（吉野かわかみ社中 上畷理事長） …5分
7. 事前参加申込・問い合わせ先
 - ・来場は、原則「報道関係者」と「川上村及び奈良県の行政担当者等」に限ります。一般の方の参加はご遠慮ください。
 - ・事前申込制です。参加希望者は3月1日（月）までに、電話で予約してください。

【問い合わせ先】
 一般社団法人 吉野かわかみ社中（担当：上田一仁（うえだ かずひと））
TEL：0746-52-9555
8. その他（新型コロナウイルス感染症対策）
 - ・来場の際はマスクを着用してください。座席は前後左右に空席を設けます。会場内の移動の際も相互に社会的な距離を確保してください。
 - ・会場入口に消毒液、体温計を用意します。また次に該当する方は入場いただけません。
 - ①37.5度以上の発熱
 - ②咳、味覚・臭覚障害、下痢、吐気嘔吐等の症状
 - ③新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触
 - ④過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触